



みね教室だより

令和6年7・8月号

暑くなってきました。体調に気を付けながら、無理せず自分のペースを大切にしながら過ごしてほしいと思います。

夏休み、元気いっぱい楽しく過ごし、夏休み明けにお話を聞かせてもらえることを楽しみにしています。

7・8月の予定

	日	月	火	水	木	金	土
		7/1	2	3	4	5	6
教室1				④～研修			
教室2							
	7	8	9	10	11	12	13
教室1							
教室2							
	14	15	16	17	18	19	20
教室1		海の日					夏休み
教室2							～8/28
	8/25	26	27	28	29	30	31
教室1						指導開始	
教室2							

- ◎ 毎週決まった曜日、時間帯に指導を行います。欠席の際はご連絡ください。
また、峰小の行事や出張等で指導が休みになる場合がありますので、ご確認ください。

- ◎ 君島は、木曜日 泉が丘小
坂下は、火曜日・金曜日 石井小
での、サテライト校勤務となります。



みね教室直通 634—2236
峰小 職員室 633—3973

教室直通の電話は、在室する限り担当が出ます。

ただ、指導中は出られないこともありますのでご了承ください。

上手なほめ方，しかり方



もうすぐ夏休み。お子さんと一緒に過ごす時間が増えることと思います。

今回は、お子さんとのかかわりにおいて大切な、ほめ方、しかり方について、応用行動分析学を基に書かれた本の内容から上手に行うためのポイントを一部ご紹介したいと思います。

- ① 心からほめる。
 - ・子どもと同じ気持ちになって、心から。
- ② 毎回見逃さず，すぐほめる。
 - ・同じ行動をほめたり，ほめなかったりでは効果が薄くなってしまふ。
 - ・すぐに→時間を空けて，毎回→3回に1回→5回に1回と，少しずつ時間や回数を変えて。
- ③ スモールステップで，できたことをほめる。
 - ・目標をスモールステップに分け，1ステップごとにほめる。
- ④ 一番効き目のありそうなごほうびを探す。
 - ・成長段階に応じて，食べ物，飲み物→テレビ，ゲーム，お出掛け→ほめ言葉など。
 - ・物を与えるときは，必ずほめることを一緒に行うことが大切。
- ⑤ ちょっとしたいたずらは，しからないで知らん顔する。
 - ・しかりたくてもじっと我慢。
 - ・一番よくないのは，「いけません」と言いながら，やらせてしまうこと。
- ⑥ できるだけしからない。
 - ・しかり続けると効果が薄くなる。
- ⑦ しかるときは，短くきっぱりと。
 - ・危険なことに対しては，何が何でもやめさせるという強い決意をもって。
- ⑧ 最後はほめて終わらせる。



ほめられることは，とてもうれしいことですね。私達周りの大人が少し意識して関わることで，「できた。」「やったあ。」という成就感を感じ，いろいろなことへのやる気につながるとうれしいですね。

参考 「発達の気がかりな子どものほめ方しかり方」山口 薫 著 学研

通級ノートの活用について



生活の場であるご家庭や学校の情報を大切にしていきます

日頃より，お子さんの様子について，通級ノートなどを活用させていただき，大変ありがとうございます。

通級ノートにて，みね教室での活動の様子をお伝えさせていただいておりますが，学校やご家庭での様子について教えていただきましたことを，お子さんの通級指導の際に活用させていただいております。

これからも引き続き，お子さんを真ん中に，みね教室・担任の先生・保護者の皆様の三者でのやりとりをさせていただきながら，お子さんの成長を見守らせていただければと思います。